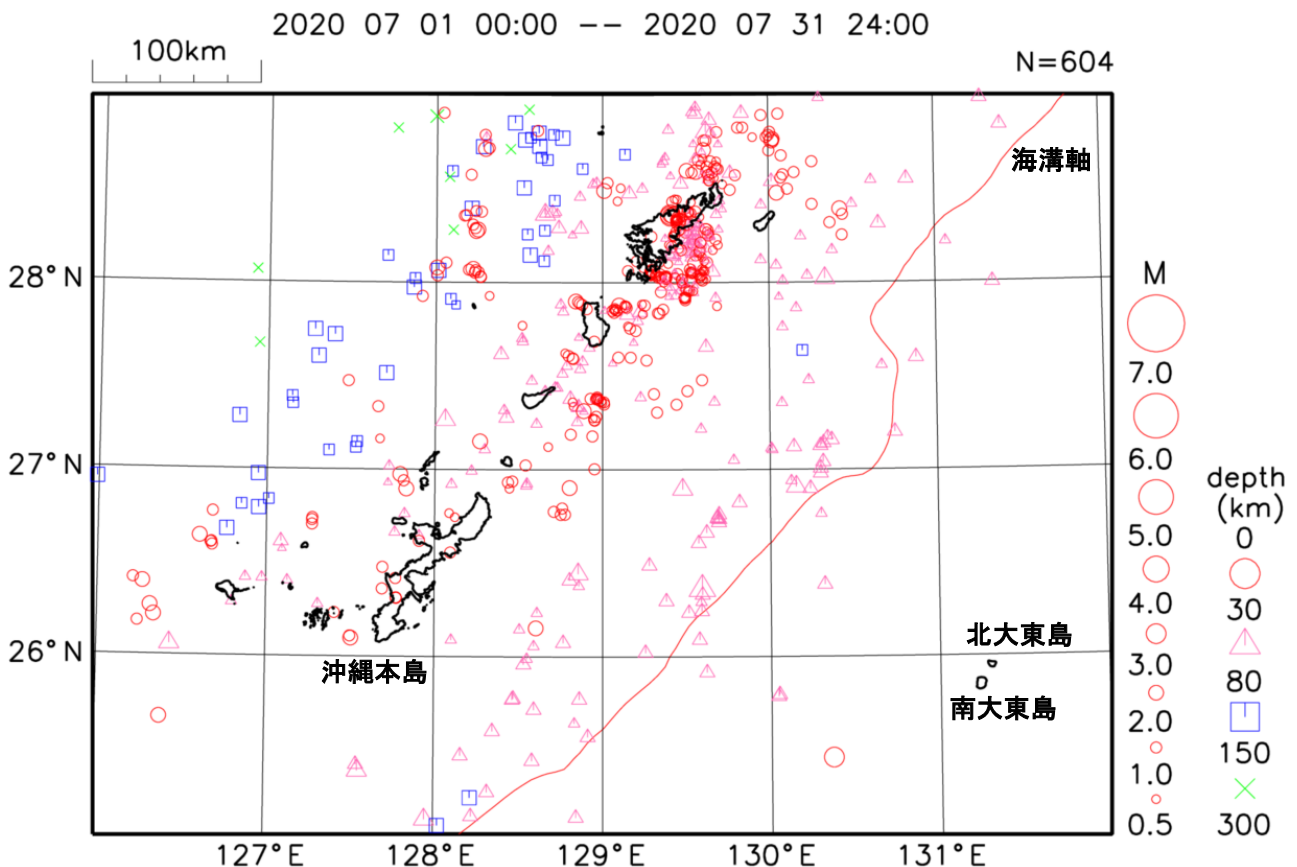


大東島地方の地震活動

2020年7月

南大東島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M: マグニチュード depth: 震源の深さ

N: 地震回数 (マグニチュード 0.5 以上の回数です)

大東島地方及び沖繩本島地方で震度 1 以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に、大東島地方で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした (6 月は 1 回)。なお、沖繩本島地方でも震度 1 以上を観測した地震はありませんでした (6 月は 3 回)。

また、大東島地方周辺 (上図の範囲) で観測した地震は 604 回 (6 月は 579 回) で、このうち M4.0 以上の地震は 1 回 (6 月は 5 回) でした。

※沖繩地方 (沖繩県) の地震については、沖繩気象台作成の「沖繩地方の地震活動」をご覧ください。
URL: <https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/jishin/month.html>

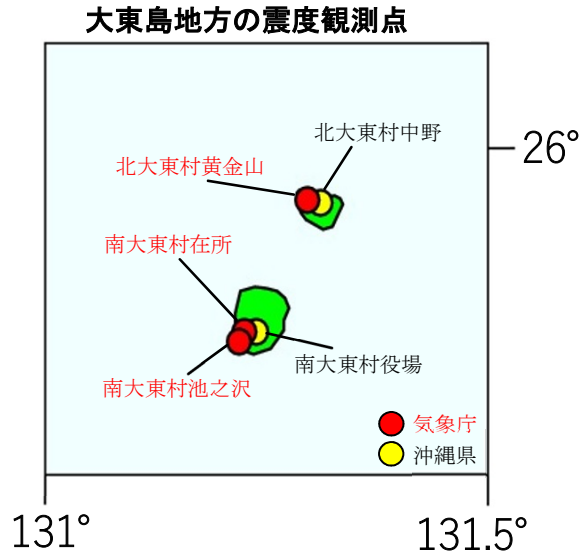
※資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。



本件に関するお問い合わせ先

電話: 09802-2-2006

ホームページ: <https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

「防災の日」について ～防災について考えましょう～

私たちの住む日本は、豊かな自然に恵まれています。一方で、時に私たちに容赦なく襲いかかり、甚大な災害をもたらします。

9月1日は、「防災の日」です。1923年（大正12年）9月1日に発生した「関東大震災」にちなんだもので、例年台風の襲来が多い時期でもあることから、1960年（昭和35年）に制定されました。

地震や風水害等に対する心構えを育成し、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。

地震や津波等の自然災害は、いつ襲ってくるか分かりません。そのため、平常時より災害に対する備えを心がけ、発災時には自らの身の安全を守る「自助」とともに、「共助」、「公助」による社会全体における防災力を向上させる必要があります。

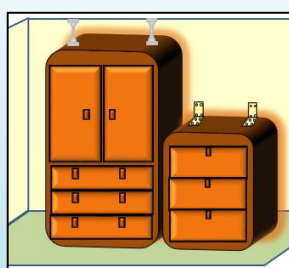
非常用品の備蓄や家具の固定、いざという時の避難場所や避難経路、連絡方法などを事前に確認しておくなど普段からの心構えと備えが大切です。また、あわてずに適切な行動をとるためには、地域の防災訓練に参加し、正しい防災知識を身につけることも重要です。

「防災の日」を含む一週間は「防災週間」です。この機会に、家庭や職場などで防災について話し合っははいかがでしょうか。

地震や津波への備え



食料・飲料などの非常用品の備蓄



家具の固定



避難場所や避難経路の確認



防災訓練に参加

突然起こる地震や津波に対応するには、日頃からの「備え」と「訓練」が大切です！

- ✓ 食料・飲料や非常用品などを備蓄しましょう！
- ✓ 家具を固定して倒れないようにしましょう！
- ✓ 避難場所や避難経路などを家族で話し合っておきましょう！
- ✓ 地域の防災訓練等に参加し、正しい防災知識を身につけましょう！

過去の防災一口メモは沖縄気象台ホームページで確認

沖縄気象台ホームページURL <https://www.jma-net.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>